

市長が行く

No.118

茂原市長 田中豊彦



コロナ禍の市長選挙を終えて

こんにちは。茂原市長の田中豊彦です。

と、引き続き言うことがで
きることに、ほっとする思
いと、改めて問題山積の茂
原市の舵取りをしていく重
責を担うことに気が引き締
まる思いとが、心の中で交
錯しております。

今回の市長選挙は、今ま
でとは大きく違い、緊急事
態宣言下の、外出自粛規制
が掛かった中での選挙戦で
した。選挙では、本来ならば
人を集めることが求められ
るのに、それは自粛せねば
ならず、感染防止のために、
消毒をはじめとするさまざま
な配慮が必要でした。現
職という立場もあり、新型
コロナウイルス対策や、今年
も襲ってくるかもしれない
台風や豪雨への対策などに
追われながらの日々でした。
ここに改めて応援してくだ

さった方々に心より感謝申し
上げます。

そもそも今回の選挙は、昨
年の豪雨による災害対策に対
する市民の皆様の審判を仰ぐ
ことでもあったと感じており
ます。

昨年の災害時、避難所の開
設やさまざまな備品の配布、
災害ごみの処理など、やるべ
きことは迅速に行ってきたつ
もりでありますが、それでも
多くのご批判をいただきました。
これからの災害に備えて、
特に河川の改修に関して
は、県の管轄ではありません
が、今後の課題と覚悟しての
立候補でした。

そして、市民の皆様の審判
が下った今、私はこれから
も、驕りもせず、卑下もせ
ず、平常心を持って、責務を
果たしていきたいと決意を新
たにいたしております。

さて、4期目がスタートし、

まず取り組んでいくこと
は、今回のコロナの問題へ
の対策と、先ほどから申し
上げている台風や豪雨によ
る災害対策です。もちろん
対策は次から次へと打って
いく所存ですが、それでも
完璧なものには難しいかもし
れません。なぜなら、これ
は今まで経験したことのない
未知なるものとの戦いで
あろうからです。

先日、茂原北陵高校の永
野校長先生が千葉日報に書
いておられました。現代
は「地震、水害、ウイルス」
などの災害を受け入れるよ
うな気持ちを持たないと生
きていけない時代なのかも
しれません。まだまだ、コロ
ナと戦う日々が続いており
ますが、また台風が発生し
たと聞くと、河川の状況が
気になり、気をもむ日々は
これからも続きます。